

代 表 者

小
田

研 修 報 告 書

令和6年8月13日

会 派 代 表 者 様

呉市議会議員 岡崎源太朗

次のとおり研修に参加したので報告します。

1. 研修期日

令和 6年 7月 30日 (火)

2. 研修項目

病院事業会計の質問の極意
東京都 (国際ビル 2階)

3. 参加議員

岡崎 (源太朗)

4. 随行者

なし

■研修項目

【研修対応者】

伊関友伸 城西大学経営学部教授

【研修期日】

令和6年7月30日10時から12時半

【研修目的】

総務省から自治体病院に対する補助金が増となった。

下蒲刈病院の経営改善の方法を探るため、専門家の意見を伺いました。

【研修内容】

この手の勉強会は参加者が少人数のことも多いのですが、今回の勉強会は30人近くの参加者があり、病院の経営改善が、地方自治の大きな問題となっていることと、経済効果が高いことが考えられます。

病院事業の補助金が、厚生労働省ではなく、総務省であることにまずは驚きました。

国は公立病院を集中化し、効率化を進めています。このような中、自治体病院の65%は10万人以下の自治体に立地していて、その存在意義が問われているようです。

そこで2020年、総務省から不採算地区の中核的な公立病院に対する特別交付税措置が創設されました。

- 1 病床数150床から500床まで補助の拡大。
- 2 既存施設の建て替え、か機能統合時の交付税措置25%から40%の拡大
つまり病院施設を統合するか、機能統合すれば交付税措置が拡大し、病床数も500まで補助されることになりました。

病院を統合集約し、経営の安定化を図るものと思われれます。

また、コロナの反省から、建て替えるときに個室を増やすべきとの案も勉強しました。痴呆の方受け入れ措置としても個室は有効だそうです。
個室料金がとれるのは、3割以下との決まりがあるので、個室割合は3割になっているようですが、個室料金を取らなければ、制限がなくなるアイデアも学びました。

呉市下蒲刈病院も個室を増やし、コロナ対応と電子カルテ、遠隔診療に対応できるよう建て替えを検討すべき時期に来ていると感じました。

【呉市での展開の可能性】

呉市は蒲刈診療所と大地蔵診療所と下蒲刈病院が統合しました。このことが病院統合か機能統合になれば、40%の交付税措置がいただけるので、病院建て替えが進みます。一般質問で提案し、国の判断を仰ぎます。